

# はじめに

本調査は、全国的な子どもの体力の状況を把握し分析することにより、子どもの体力向上に係る方策の改善を図るために毎年実施されています。平成 26 年度の結果において、北海道の子どもたちの体力は全国最低水準にあり、本市においても小学校のソフトボール投げ等で一部全国を上回る種目はあったものの、全体的に多くの課題が明らかになりました。そのため本市では、各学校独自の「1校1プラン」の積極的な推進や今年度新たに学校と総合型地域スポーツクラブと連携した取組を実施することとしました。

今年度の本市の児童生徒の体格は、小学校男女・中学校男子で身長・体重で全国平均を上回り、中学校女子の身長で全国平均を上回りました。また、肥満傾向児・痩身傾向児の出現率においては全国・全道と比べ概ね同様の結果となりました。また、本市の児童生徒の体力合計点では、小学校男女で昨年度を下回りましたが、中学校では男女とも昨年度を上回りました。種目別においても、小学校男子が8種目のうち2種目で全国平均を上回り、中学校では男女とも3種目で全国平均を上回りました。

また、ここ3年間の体力合計点の結果を経年比で見ると、今年度は中学校男女で最もよい結果となりました。

本調査は、実技種目だけではなく、「運動やスポーツに対する意識」「家庭での生活習慣や運動習慣」、「体育・保健体育の授業に対する受け止め方」等の項目を調査分析の対象とした児童生徒質問紙調査も実施しました。この中で、今年度特に生活習慣と体力との関係やテレビ・ゲーム・携帯電話などの利用時間と体力の関係、健康三原則（運動・食事・睡眠）と体力の関係を見る項目も調査対象となりました。その結果、体力合計点が高い児童生徒ほど生活習慣が規則正しく身に付いていること、児童生徒の運動やスポーツに対する意識が高いほど体力合計点が高い結果となり、その関連が明らかとなりました。

学校質問紙では、体力・運動能力向上に向けた取組や体育・保健体育の授業の工夫改善、運動する時間の少ない生徒への対応、生活習慣改善の取組、授業における外部人材の活用、新体力テストと授業の工夫改善等が調査項目となりました。その結果多くの項目で本市の結果が全道・全国の平均を上回る結果となりました。

教育委員会としては、今回の結果を基に、これまでの取組の成果や課題を明確にし、今後の体力向上のための対策としていきます。

子ども達の体力向上のためには、市民の皆様と成果と課題などを共有し、学校・家庭・地域が一体となって取り組むことが不可欠であると考えます。今後とも、市民の皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。